

令和7年度全日本中学校陸上競技選手権大会選手選考について

令和7年 8月17日(日)～20日(水) 沖縄県(タピック県総スタジアム)

下記表【全日本中学校陸上競技選手権大会参加標準記録】を通信陸上大会、県総体において突破した選手に出場資格が与えられる。

※四種競技においては、中学生選手権大会も指定突破大会としている。
※なお、四種競技において、それぞれの種目で標準記録を突破しても、単独種目の参加は認めない。

リレーは、通信陸上大会、及び県総体の共通リレー決勝においてそれぞれ1位のチームの記録を比較し、記録のよいチームを山梨県代表として出場資格を与える。

(男女各1チーム。同タイムのときは県総体優先)
【全日本中学校陸上競技選手権大会 参加標準記録】【追風参考記録は対象としない】 令和7年度改定

男 子		女 子	
種 目	標準記録	種 目	標準記録
100m	11"10	100m	12"50
200m	22"65	200m	25"80
400m	51"40		
800m	1'59"50	800m	2'16"50
1500m	4'08"00	1500m	4'38"00
3000m	8'55"50		
110mH	14"70	100mH	14"60
走高跳	1m85	走高跳	1m60
棒高跳	4m00		
走幅跳	6m60	走幅跳	5m40
砲丸投	13m30(5k)	砲丸投	12m50
四種競技	25 00 点	四種競技	2630 点
4×100mR	各都道府県1チーム(学校単独チーム)		

【選手・チーム選考方法の確認事項】

上記の標準記録を突破した者が全国大会の出場資格を獲得する。ただし、各都道府県で標準記録突破者が合計10名に達しない場合、合計10名までを専門部から推薦し、協議の上、出場資格が与えられる。(平成27年度より適用)

選考方法について、以下の通りとする。(リレーには推薦枠はない。)

- ①_通信大会、県総体においてその種目に出場し、上記の標準記録を突破できなかった者で、以下に示す設定記録(追風参考記録は対象としない)を令和7年4月1日～7月28日の期間で開催された公認大会でクリアした者を推薦出場の『選考対象者』とする。四種競技の単一種目における記録も選考の対象とする。
なお、県外の大会での記録は、顧問、コーチが記録の証明書を提示し、申告をすること。
- ②_選考対象者が推薦枠の人数を上回った場合の選考方法は、10名を超えた場合は、標準記録に対する達成率で優劣を付け、上位の選手から選考する。(駅伝大会の記録は対象外とする)
- ③_②の方法で選考対象者10番目のランキングが複数になった場合は選考対象の記録が、【①県総体②通信陸上大会】の優先順位として優劣をつける。それでも決まらない場合は、10番目の選手は選考しない。
(例1:達成率98.0% A君通信100m B君県総体走幅跳の場合 ⇒ B君を選考)
(例2:達成率98.0% 位A君県総体100m B君県総体走幅跳の場合、⇒ 両者とも選考しない)
- ★追風参考記録は選考の対象としない。
- ★選手の選考は、県総体終了後の「関東全国代表者選考会議」において決定する。

※選考対象者が推薦枠の人数を上回った際の例

例	種目と標準記録	記録	達成率 (計算方法)小数点第二位以下切り捨て	優先順位
Aさん	100m(11"10)	11"14	99.6% (1110÷1114)	1
Bさん	走幅跳(6m60)	6m55	99.2% (655÷660)	2
Cさん	1500m(4'08"00)	4'10"50	99.0% (24800÷25050) ※分は秒に直す	3
Dさん	110mH(14"70)	14"95	98.3% (1470÷1495)	4

⇒このパターンだと、Aさんが最優先となる。

【推薦出場選手選考設定記録】令和7年度改定

	男 子	女 子
種 目	設定記録	設定記録
100m	11"30	12"72
200m	23"00	26"30
400m	52"30	
800m	2'02"00	2'19"00
1500m	4'14"50	4'43"00
3000m	9'06"50	
110mH	14"95	
100mH		14"85
走高跳	1m80	1m55
棒高跳	3m80	
走幅跳	6m35	5m15
砲丸投	12m90	12m00
四種競技	2450点	2580点

※この設定記録は過去全国大会各種目出場者の予選結果の記録（記録順に概ね2／3に位置する記録）を参考にして強化部で設定しました。（四種競技は総合得点）
なお、棒高跳、走高跳は安全面も考慮し、開始試技の高さを考えた設定をしています。